

# まちづくりと地域包括ケア

今回の研修会では医療と地域のつながりをテーマに、今後の地域、医療の連携に関する課題や地域に求められることなどを、訪問看護ステーションの活動を通し地域づくり、街づくりを行ってきた石口房子さんにお話しいただきます。地域、医療の連携について私たちが出来ることを皆さんと一緒に考えましょう。

日 時；平成26年2月8日（土）

13：00～受付

13：30～第1部 講演会

15：05～第2部 パネルディスカッション、パネラーの実践報告

16：30 終了

講師紹介は、別紙を  
ご覧ください☆

## 【第1部：講演会】

### 「医療と地域のつながり」

広島県地域包括ケア推進センター主幹

ケアマネジャー（保健師）石口 房子 氏

## 【第2部：パネルディスカッション「実践報告」】

- ① 「退院前カンファレンス、十勝モデルが出来るまで」  
JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 地域連携室室長 金元 信子 氏
  - ② 「退院調整の実際」  
北海道社会事業協会 帯広病院 第7病棟看護師長 青砥 英子 氏
  - ③ 「おうちに帰ろう」  
医療法人社団博愛会 開西病院在宅ケアセンター所長 荒 浩美 氏
  - ④ 「看取りの実際」  
社会医療法人北斗 訪問看護ステーションろらん 宮部 夕香里 氏  
社会医療法人北斗 在宅緩和療養センター センター長 谷田 憲俊 氏
- <司会> (医)十勝勤労者医療協会 老人保健施設ケアセンター白樺事務長 笠松 信幸 氏

場 所；とがち館孔雀の間（帯広市西7条南6丁目2番地）

※会場の地図は別紙をご覧ください。

対 象 者；保健医療福祉介護関係者、関心のある市民のみなさま

締め切り；平成26年1月17日（金）

定 員；200名

参 加 料；無料

申 込 先；開西病院在宅ケアセンター 荒

FAX（0155）37-9110

メール；[h\\_ara@hakuikai.org](mailto:h_ara@hakuikai.org)

※日中不在のため、別紙申込書記載の上、FAXまたはメールでの申し込みをお願いします。

※この事業は北海道医療連携推進事業の補助を受けています。

## 【石口房子さん】

- 1976年 兵庫県立総合衛生学院 保健学科卒業
- 1982年 広島市内の病院で訪問看護開始
- 1995年 「広島・ホスピスケアをすすめる会」発足 代表
- 1996年 「YMCA 訪問看護ステーション・ピース」開設 就職
- 1998年 『広島にホスピスを求める会』（署名活動）代表
- 2001年 「YMCA 訪問看護ステーション・ピース」所長
- 2005年 第13回『日本ホスピス・在宅ケア研究会』in 広島大会会長



「広島県・ホスピスケアをすすめる会」、「訪問看護ステーションピース」を立ち上げ、在宅看護、ホスピス、緩和ケアという言葉がまだまだ医療従事者にも市民にもあまり知られていない時代から在宅医療の最前線を走り続けている第一人者。

今回は「在宅支援の関わり」、「看取りの関わり」についてご講演いただきます。

### 【研修会場地図】



※研修会場は、駐車場の台数に  
限りがありますので、  
近隣の駐車場をご利用ください。  
※ゴミの持ち帰りについて、ご協力を  
お願いします。

# 参加申込書

申込代表者 所属

氏名

連絡先 TEL

FAX

※次回研修会をメールで御案内させていただきたいと考えております。

御希望の方は、代表者メールアドレスを記入ください。

e-mail

※職種は、職名ではなく、医師、介護支援専門員、看護師、社会福祉士、PT、OT等職種がわかるように記載ください。

ふりがな 氏名	所属（勤務先）	職種

申込先：十勝連携の会 事務局 担当者

開西病院在宅ケアセンター 荒

FAX (0155) 37-9110

メール h\_ara@hakuai.org

締切；平成26年1月17日（金）